

## 常任委員会における審査の主な内容

### 総務委員会

長崎市特定業務施設の移転又は拡充を促進するための固定資産税の不均一課税に関する条例を可決

この条例は、特定業務施設の移転または拡充を促進し、長崎市の経済の活性化及び雇用機会の創出を図るため、特別償却設備設置者に対し、地方税法の規定による固定資産税の不均一の課税をすることについて、必要な事項を定めようとするものです。

委員会では、本社機能の移転や雇用機会の創出については、県内においても地域間競争がある中で、具現化に向けた県との連携体制の有無についてただすなど、内容検討の結果、異議なく原案を可決しました。

**特定業務施設**：事業者の事業や業務を管理、統括、運営し、実際に本社機能を有している業務施設

### 教育厚生委員会

平成28年度長崎市一般会計補正予算第3号(教育厚生委員会所管部分)を可決

総務費において、枯死が確認された城山国民学校カラスザンショウについて、現地で樹木の形状と被爆の痕跡を

残していくための保存措置に係る経費を増額するための原爆資料保存整備費が計上されていることから、枯死が確認された経緯とこれまでの樹木医による観察状況、今後の保存活用の考え方についてただすなど、慎重に審査しました。

また、教育費において、小島小学校について、国道からの取り付け道路等の整備のため、学校用地の新規取得に向けた調査等を行うための小学校整備事業費が計上されていることから、校舎等の整備に係る今後のスケジュール、狭い敷地を有効活用するための施設の配置計画についてただすなど、あわせて審査しました。

その結果、城山国民学校カラスザンショウの保存措置は、地域や同窓生も望むものであり、被爆の痕跡を残す貴重な遺構であるため、管理体制や見せ方など、さまざまな点を考慮し、将来的にも後世に残していくための管理と保存措置を講じてほしい、各種協議会等への事前の相談・説明が行われないままに処置を進めたことに関しては反省してほしい、小島小学校の建て替えについては、速やかに整備を進めるとともに、学校現場の意見を聞いて、子どもたちにとって使いやすい施設としてほしい、また、将来的には防災面からも、近隣に安心感を与える施設とし

てほしいとの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。

### 環境経済委員会

工事の請負契約の締結について(旧長崎市公会堂解体工事)を否決

本件は、旧長崎市公会堂解体工事の請負契約を締結しようとするものです。委員会では、市が公表している制限付一般競争入札発注基準では、発注予定金額が2千800万円以上の解体工事である場合、入札参加の資格要件となる総合数値は最上位ランクの880点以上としているにもかかわらず、予定価格が約1億6千800万円である本工事の入札において、2番目のランクの770点以上を資格要件とした理由についてただすなど、慎重に審査しました。

その結果、今回の工事は、入札参加の資格要件である総合数値は880点以上が対象となるところを、業者数が少ないという理由から770点まで下げているが、入札参加者26者のうち、17者が880点以上であるため、J・Vを組むと8グループができる。これまでも行政は、参加者が少数であっても入札を行ってきたことから、業者数が少ないということは理由にならず、

改めて880点以上で入札を行うべきであるとの反対意見が出され、賛成なく原案を否決しました。

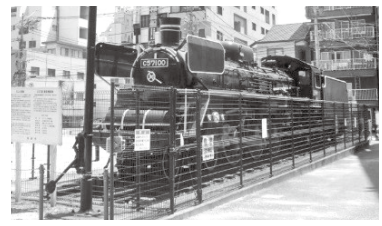
J・V：複数の建設企業が、1つの建設工事を受注・施工することを目的として形成する事業組織体

### 建設水道委員会

平成28年度長崎市一般会計補正予算第3号(建設水道委員会所管部分)を可決

土木費において、中央公園に設置しているSLの老朽化に伴う利用者の安全性確保にあわせ、ランタンフェスティバル等イベントの利便性向上を図るため、再整備を行うための公園施設整備事業費が計上されました。

委員会では、SLの解体撤去に伴い発生するプレートなどの部品を有効活用する考えの有無と所有者であるJR九州との協議経過、にぎわいの拠点である中央公園において、さまざまなイベントでの活用を検討する考えについてただすなど、内容検討の結果、異議なく原案を可決しました。



▲中央公園内設置のSL